

1 目的

- (1) 生徒の学習意欲を高め、「生徒が『できる・わかる』ことを実感できる授業」を展開するため、指導実績のある講師を招き、教師一人一人の力量向上を図ります。
- (2) 生徒のものの見方・考え方を広げ、ルール・マナーを重んじる生徒の育成をめざします。
- (3) いろいろな分野で活躍する人物の講演や発表を聞き、夢をもち自己実現に向けて努力できる生徒の育成をめざします。

2 内容

(1) 教師力向上 「道徳指導について」

今年度より行っている『特別の教科 道徳』の授業力アップのために、道徳的判断力・心情・実践意欲と態度を育てるための多面的・多角的な考えと、評価のポイントについてお話をしていただいた。

- ・ 講師 愛知教育大学 鈴木 健二 先生
- ・ 実施日 12月9日

(2) マナー講座

2年生を対象にキャリア教育の一環として職場体験前に社会人のマナー、心構えを学ぶ講座を開きました。

- ・ 講師 水田 有美子 先生
(株式会社アイビユー)
- ・ 実施日 10月25日



【マナー講座】

(3) 情報モラル教室

中学校に入学した1年生の生徒に情報モラルについて講座を開きました。

- ・ 講師 勝野 祐子 先生
(安心安全インターネット塾)
- ・ 実施日 5月17日



【情報モラル教室】

(4) キャンプカウンセラー

2年生の野外学習にキャンプカウンセラーに同行していただいた。

- ・ 講師 愛知キャンプカウンセラー協会 3名
- ・ 実施日 5月14日～16日

(5) 思春期講座

夏休み前に3年生の生徒に性教育を行いました。

- ・ 講師 丹羽 咲江 先生 (丹羽レディースクリニック院長)
- ・ 実施日 6月27日

(6) 発達障害理解

1年生を対象に障害のある生徒を理解する講座を開催しました。

- ・ 講師 阪 貴子 先生 (発達障害等の啓発活動グループ講師)
- ・ 実施日 11月6日

(7) 人権講演会

人権週間に合わせて、「すぐに カット ならないために」の演題で講演をしていただきました。アンガーマネジメントによる怒りと上手に付き合うテクニックを学びました。

- ・ 講師 濱崎 明子 (株式会社プラススマイル代表)
- ・ 実施日 12月6日

3 評価

(1) 教師力向上

愛知教育大学の鈴木健二先生をお招きして、本年度から行われている『特別の教科 道徳』について、研修を行いました。授業力アップのために、今まで発問について研究を進めてきましたが、道徳部会の先生からより一歩進んで、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度についての研修を行いたいとの要望があり、研修を依頼しました。また、道徳の評価のポイントについてもお話をしていただき、実践に役立つ研修となりました。

(2) マナー講座

2年生の職場体験の事前に行い、2年生の生徒にとって初対面の人に与える印象について学ぶ良い機会となりました。

(3) 情報モラル教室

中学に入学した1年生に情報モラル教室を行い、インターネットやSNSのトラブルについて話をしていただき、ネットに潜む多くの問題について学ぶことができました。

(4) キャンプカウンセラー

2年生の野外学習に、愛知県キャンプカウンセラー協会等に所属している3名の方に参加していただき、キャンプファイヤーのスタンプの練習や火舞いの模範演技、また、飯ごう炊飯での適切な指導など、多くの場面で専門的な知識に触れる機会がもてると同時に、活動をより安全に行うことができました。

(5) 思春期講座

昨年度より、夏休み前に性教育に関して学ぶ機会を設け、今後に生かしていける正しい知識を身につけることができました。

(6) 発達障害理解講座

障害のある子どもをもつ保護者からの話を聞き、障害のある生徒を理解することにより、人に優しい行動がとれる心情を高めることができました。

(7) 人権講演会

株式会社プラススマイルの代表濱崎明子様を招き、「すぐに カット ならないために」の演題で講演をしていただきました。アンガーマネジメントについて学び、『6秒間待つ』ことや、ひとりひとりの『~べき』について考え、怒りと上手につきあうテクニックを身に着ける良い機会となりました。

4 課題

新学習指導要領の実施に向けて、『主体的で 対話的で 深い学び』の授業実現に対して、指導方法や指導過程の工夫が必要になってきていると感じています。例えば、体育の授業におけるタブレットの導入による深い学び、『特別の教科 道徳』についての継続的な研修など、新学習指導要領を見据えた計画をすることが必要だと思えます。